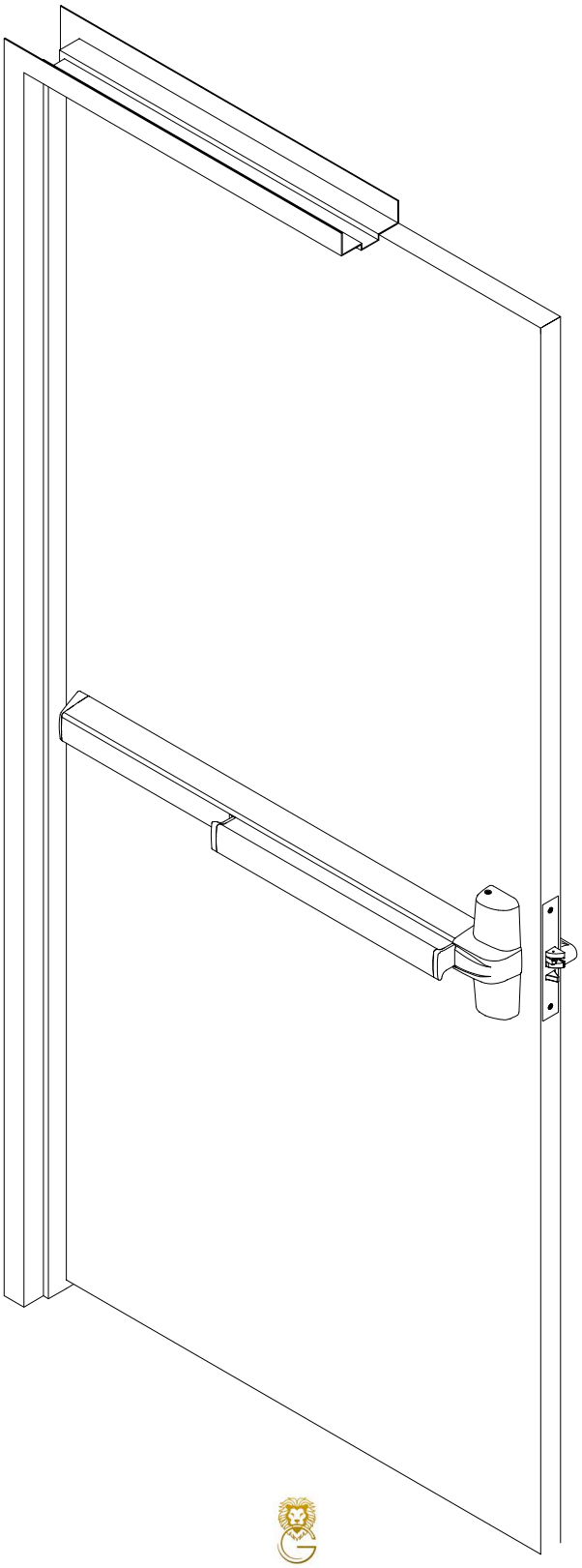
GOLDMAN INC.

Klacci®
life unlocked.

# 1400 / F1400 パニックバー
# 箱錠 / 電気箱錠式

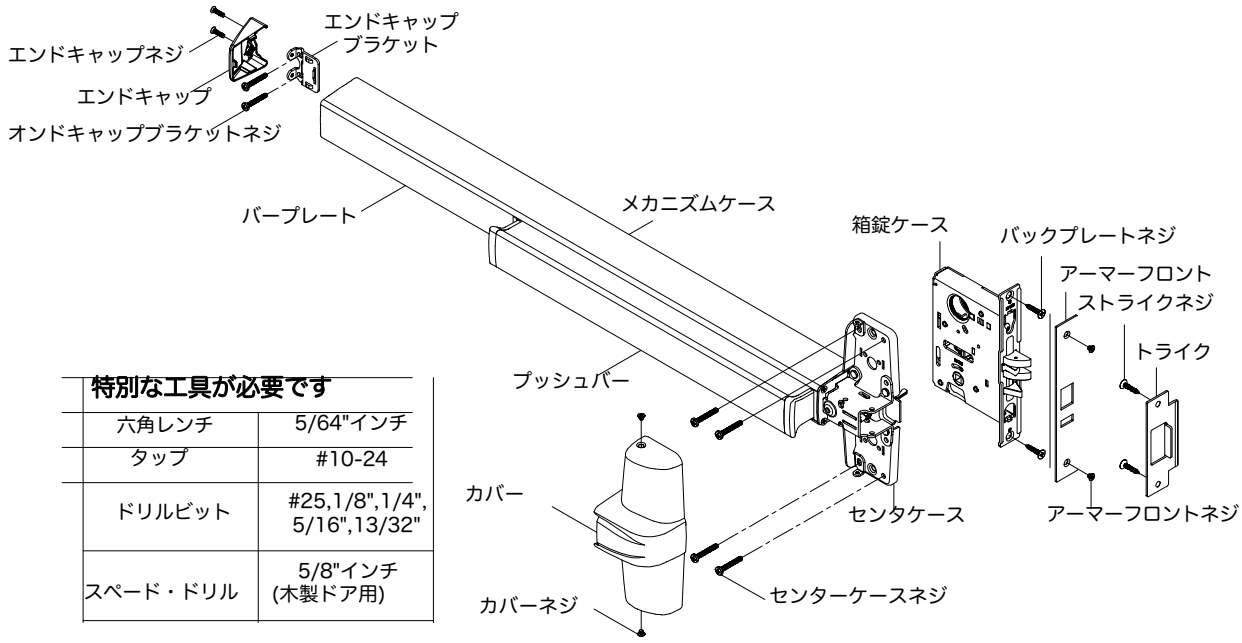
## 取付説明書



WD-OD002(525)

GOLDMAN INC.
ゴールドマン株式会社
222-0033 横浜市港北区新横浜3-7-19 3F
☎：045-620-8010　FAX：045-620-8011　✉：info@goldman-inc.jp　WEB：www.goldmanexa.com

GOLDMAN INC.




| 特別な工具が必要です | |
|---|---|
| 六角レンチ | 5/64"インチ |
| タップ | #10-24 |
| ドリルビット | #25,1/8",1/4",5/16",13/32" |
| スペード・ドリル | 5/8"インチ(木製ドア用) |

## ジネ　チャート

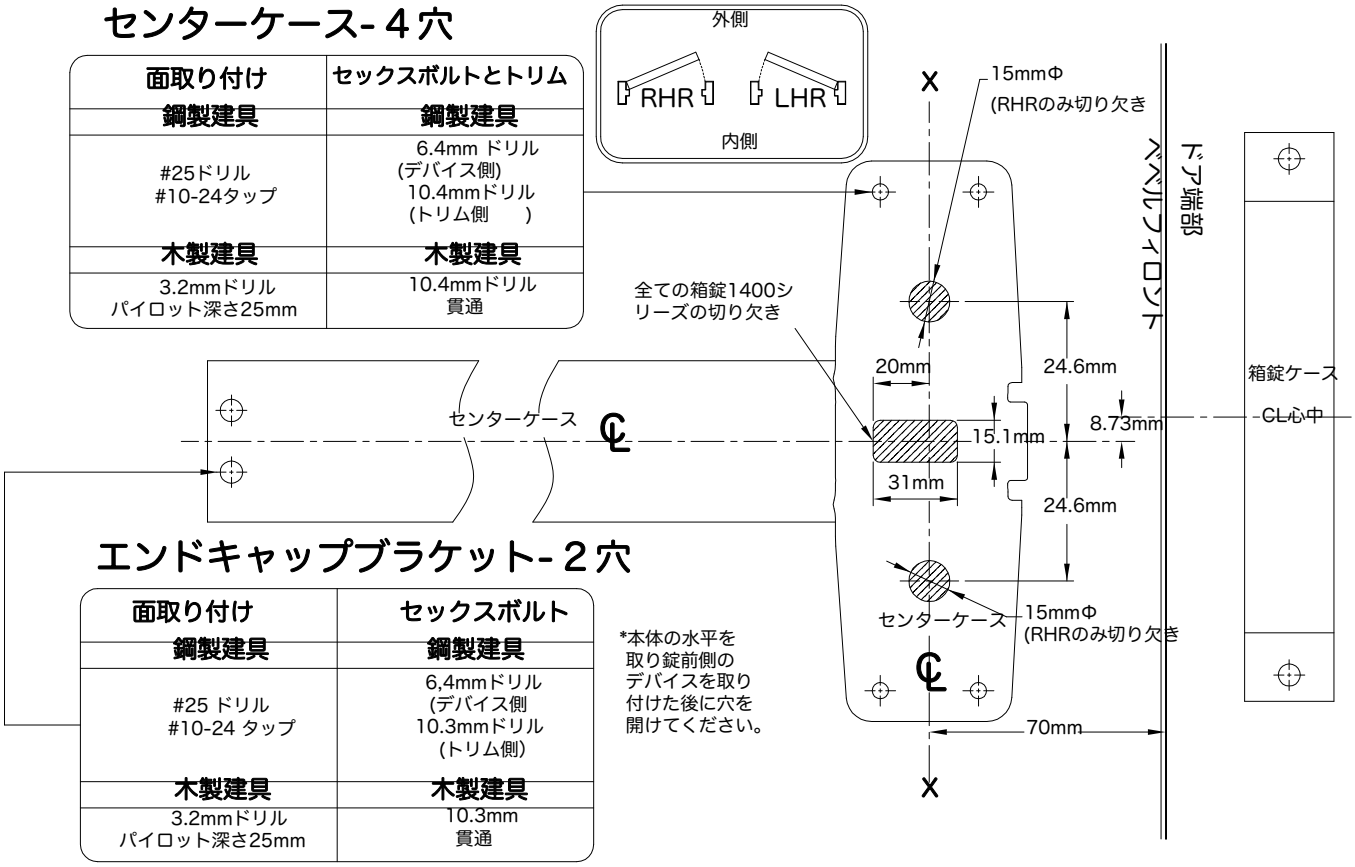
| アプリケーション | 鋼製建具（インチネジ） | セックスボルト | 木ネジ |
|---|---|---|---|
| センターケースネジ | C No.10-24 x 1-11/32" 4 個 | C No.10-24 x 1-11/32" 4 個<br>G No.10-24 x 1-3/32" 4 個 | A No.10-12 x 1-11/32" 4 個 |
| エンドキャップブラケットネジ | C No.10-24 x 1-11/32" 2 個 | C No.10-24 x 1-11/32" 2 個<br>G No.10-24 x 1-3/32" 2 個 | A No.10-12 x 1-11/32" 2 個 |
| エンドキャップネジ | J No.8-32 x 5/8" 2 個 | | |
| カバーネジ | I No.8-32 x 5/32" 2 個 | | |
| シリンダーネジ | C No.10-24 x 1-11/32" 2 個 | | |
| バックプレートネジ | K No.12-24 x 7/8" 2 個 | | |
| アーマーフロントネジ | I No.8-32 x 5/32" 2 個 | | |
| 306 / 336 / 337 / 338ストライクネジ | K No.12-24 x 7/8" 2 個 | | |

# ドアの準備表と切り欠き

RHRを示す(LHRは逆側)

## センターケース-４穴

| 面取り付け | セックスボルトとトリム |
|---|---|
| 鋼製建具 | 鋼製建具 |
| #25ドリル<br>#10-24タップ | 6.4mm ドリル<br>(デバイス側)<br>10.4mmドリル<br>(トリム側　　) |
| 木製建具 | 木製建具 |
| 3.2mmドリル<br>パイロット深さ25mm | 10.4mmドリル<br>貫通 |

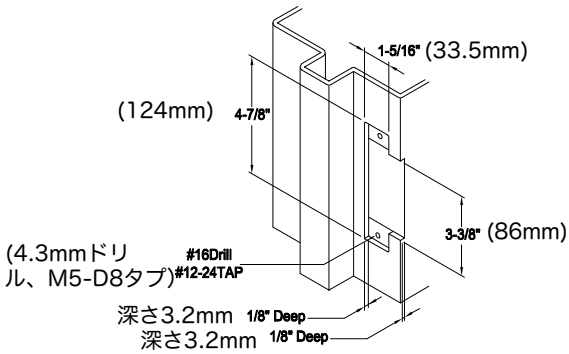



## エンドキャップブラケット-２穴

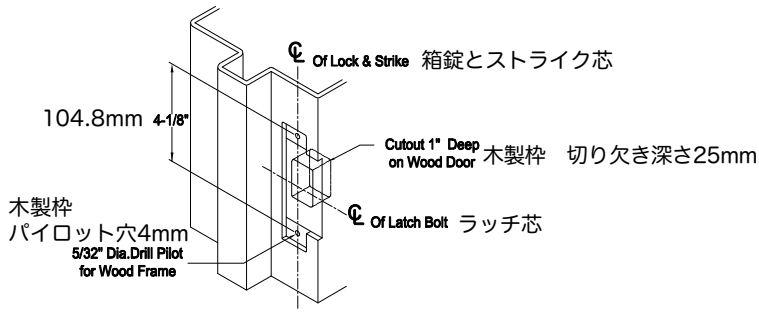
| 面取り付け | セックスボルト |
|---|---|
| 鋼製建具 | 鋼製建具 |
| #25 ドリル<br>#10-24 タップ | 6,4mmドリル<br>(デバイス側<br>10.3mmドリル<br>(トリム側) |
| 木製建具 | 木製建具 |
| 3.2mmドリル<br>パイロット深さ25mm | 10.3mm<br>貫通 |

*本体の水平を取り錠前側のデバイスを取り付けた後に穴を開けてください。

# ストライクの取付準備

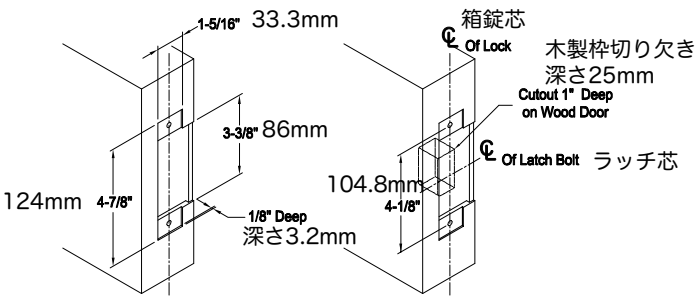



306ストライク

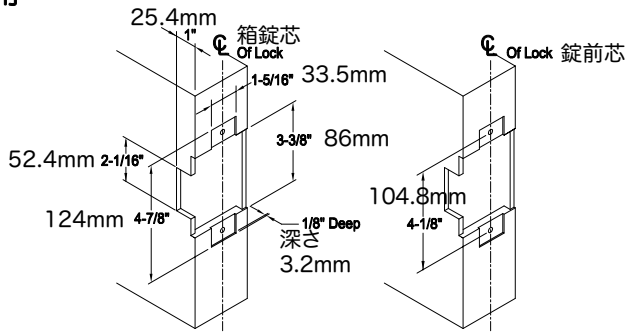



306ストライク

**片開きドア用**




306/336ストライク

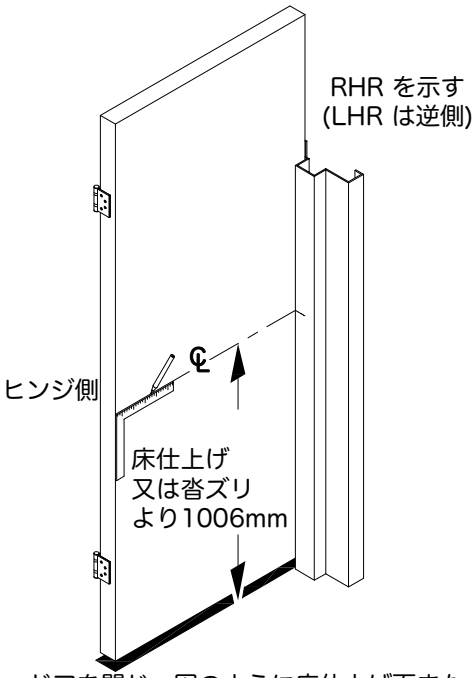



337/338ストライク

**両開きドア用**

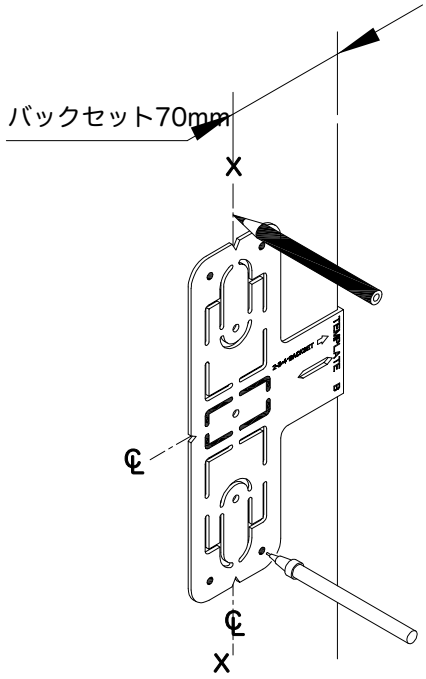
GOLDMAN INC.

## 1 水平にデバイスのセンターラインを描きます。



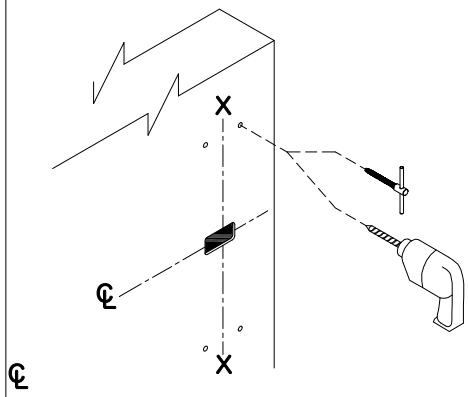

ドアを閉じ、図のように床仕上げ面または沓ズリからドアの内側面の水平センターラインを、また錠前側の戸当たり部分に1006mmを印ます（トリムを使用する場合、ドアの外側面まで水平のセンターラインを継続します）

## 2 中心線とテンプレートを整列させ,印を付けます。




4つのセンターケースの穴に印を付けます。 70mmのバックセット寸法を使用して、錠前側に垂直中心線を付けます。

## 3 4つのセンターケースの穴と箱錠の切り欠きの準備をします。



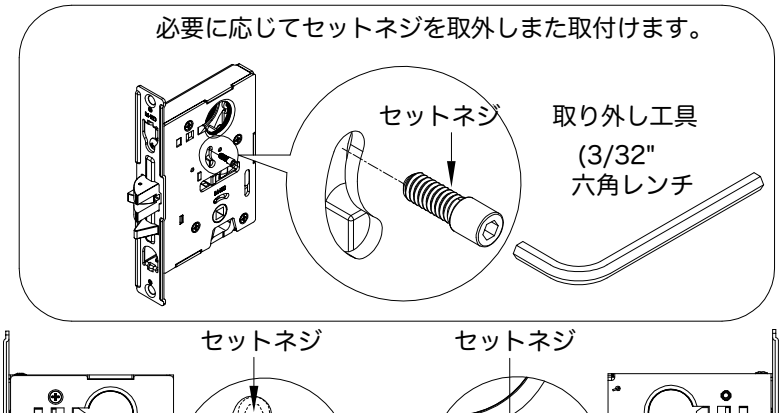

3A. 垂直方向の中心線を錠前側に70mmのバックセット寸法の印を付けます（もしトリムを使用する場合、ドア外側面に垂直中心線を付けます、ドアのエッジが傾斜している場合,X-X垂直中心線がドアのエッジに平行になるように注意。

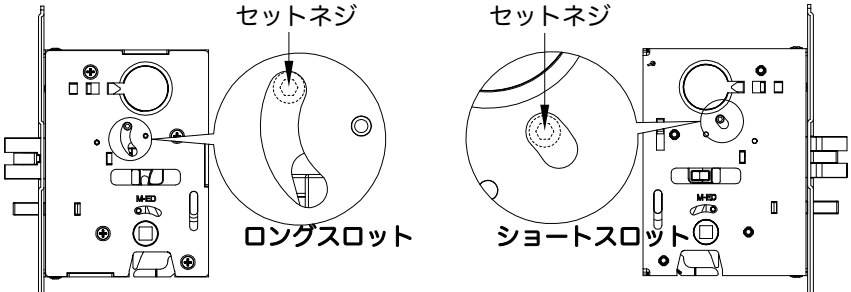
3B. ドアが箱錠のためにあらかじめ機械加工されていない場合、「箱錠の取付」方法に従ってドアを切り欠かきます。

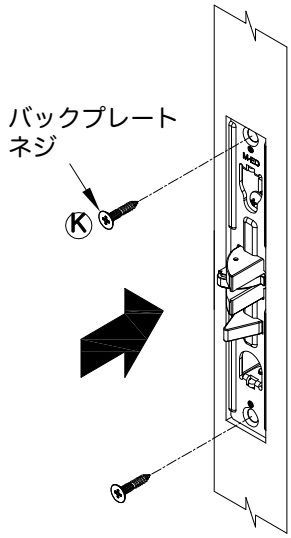
引き側のドアの準備は、「トリム手順」を参照してください。

## 4 箱錠をドアに取り付けます。

注：美和シリンダー：U9MOT.CY



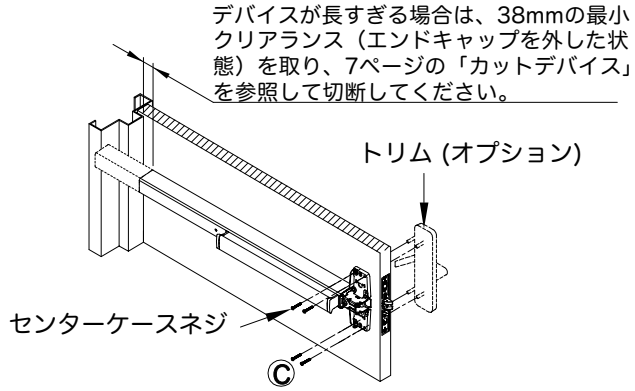

4A. EO、DT、NLアプリケーションの場合は、セットネジを出荷時の状態のままにしてください。 セットネジは箱錠の片側のロングスロットに工場でセットされています。

外側シリンダーでトリム機能を施錠/解錠する場合、TP、K、L型トリムの反対側のショートスロットにセットネジを取り付けます。

4B. ドアに箱錠を取り付け、バックプレートのネジで固定します。

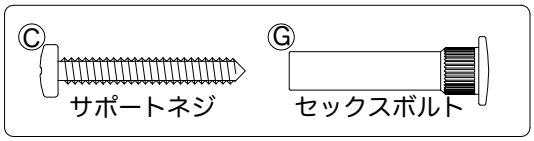
注:セキュリティインジケータは特殊な盗難防止用ロックケースを使用しており、工場出荷時に事前に設定されており、変更する必要はありません。

## 5 使用する場合は、トリムを取り付け、センターケースをドアにしっかり取り付けます。

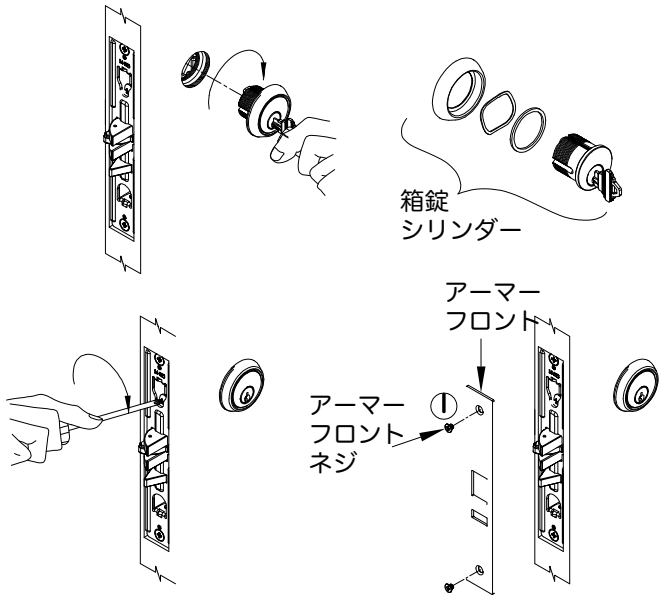



1. **トリム付きデバイス** - 「トリムの説明」を参照してください。
2. **出口専用** - 箱錠のデバイス調整スタッドに4本のネジでセンターケースをドアに取り付けます。

**防火戸用デバイスについて、**
複合ドア（木材、プラスチックおよび鋼鉄被覆）、木製コア、鋼製ドア、補強なしの軽量ドアでメーカーが代替の取り付け方法を採用していない限りセックスボルト、またサポートネジが必要です。補強材付き鋼製防火戸は鋼製建具用ネジで取り付けます。

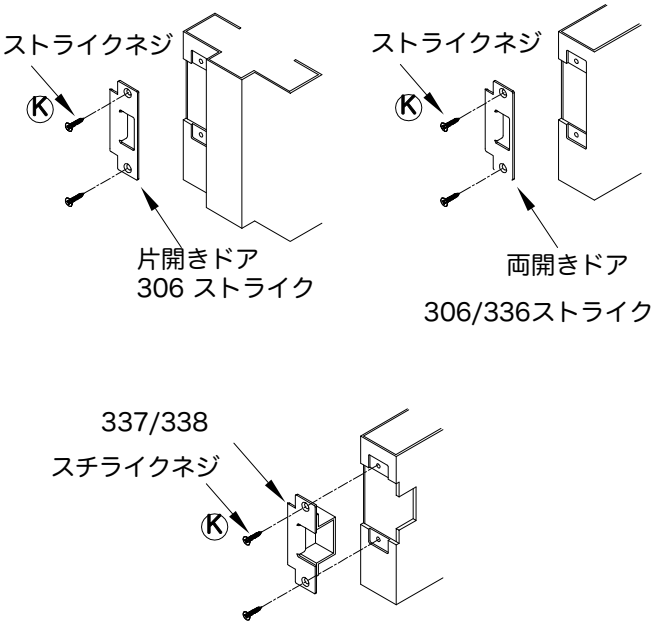



## 6 使用している場合、外側の施錠用シリンダーを取り付け、箱錠の取り付けを完成させます。



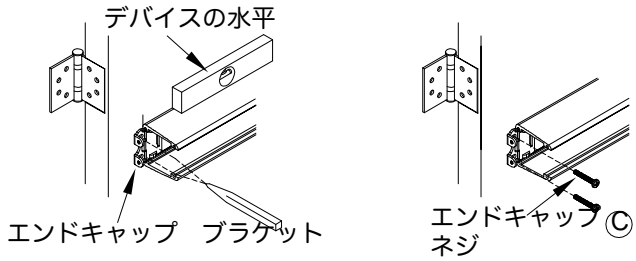

**シリンダーのみ** - 図で示すように箱錠にシリンダーを取り付けます。 キーでの操作を確認し、シリンダーにシリンダーアンカーネジを横溝に締め込みます。
**メモ**：7ページの「ダブルシリンダーの取り付け」を参照してください。

## 7 付属のストライクを枠に取り付けます。

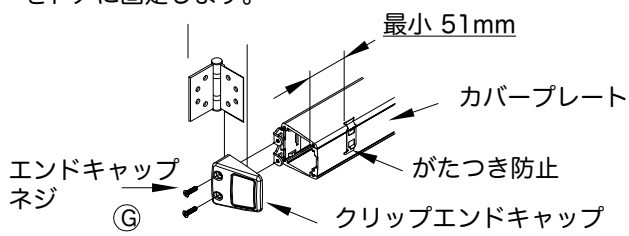



**両開き用オープンバックストライク**準備については、3ページの「ストライクの準備」を参照してください。

## 8 取り付けブラケットとエンドキャップを取り付けます。

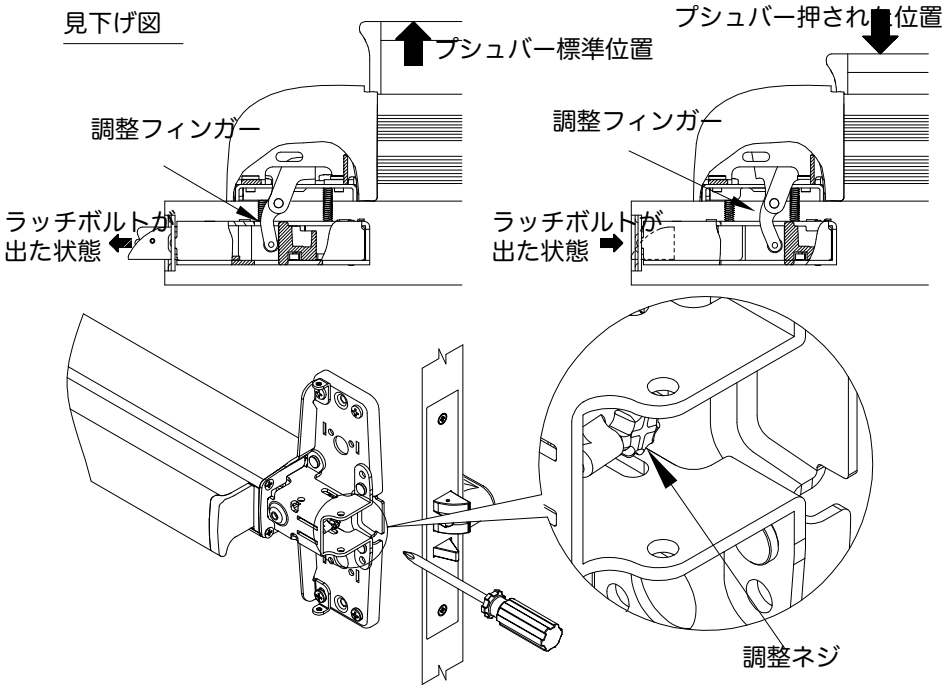



1. カバープレートを取り外し、メカニズムケースに対し、エンドキャップブラケットをプッシュバーアセンブリに差し込みます。 水平を出し、ブラケットネジ用穴2個を毛描きます。エンドキャップブラケットのネジをドアに固定します。



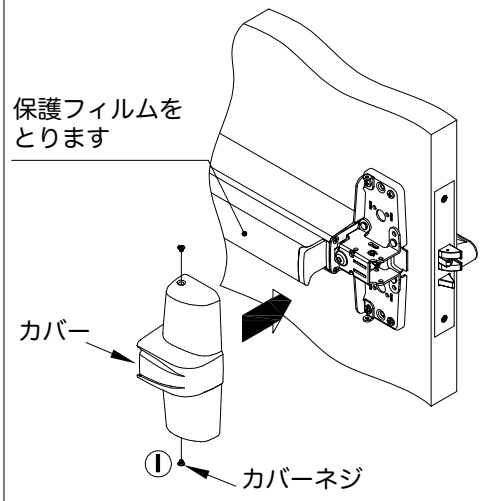

2. カバープレートを挿入し、ガタ付き防止クリップを所定の位置にスライドさせ（51mm以上の端から）、エンドキャップに2本のエンドキャップネジで取り付けます。

# 9 ラッチボルトの調整




プッシュバーが押された時、またはデバイスがドッギングで押し込まれた状態の時は、ラッチボルトを完全に引き込まれます。もしこの状態にならない場合、「調整ネジ」で「調整フィンガー」を調整してください。

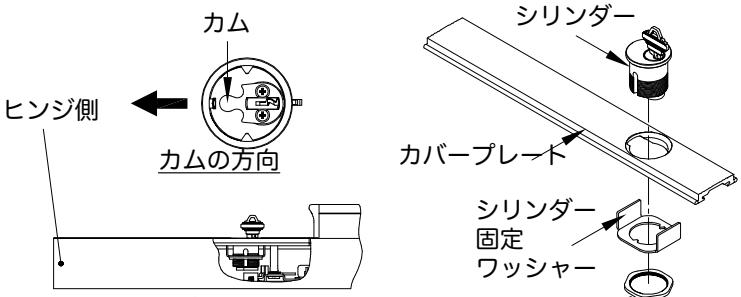
# 10 ケースカバーの取り付け



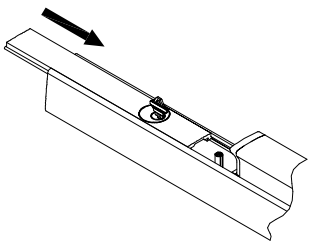

2本のセンターケースネジでセンターケースにカバーを取り付けます。

# ドッギングのオプション

## シリンダーによるドッギング

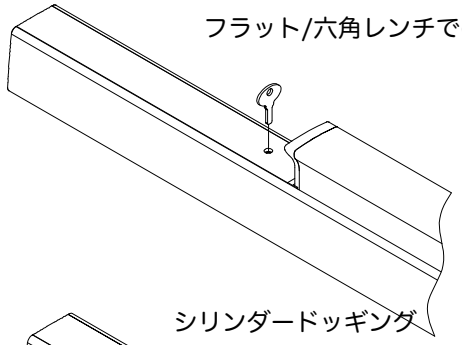


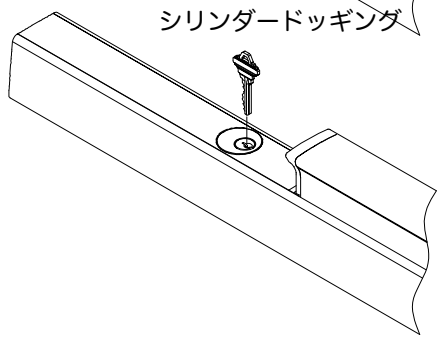

カムをヒンジ側に向けて、シリンダーをカバープレートに取り付けます。



カバープレートをメカニカルケースの所定の位置にスライドさせます。

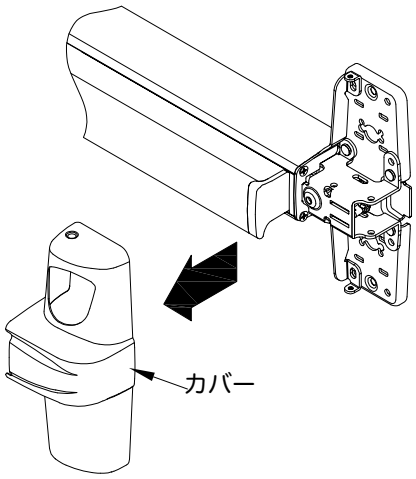
## ドッギングのチェック



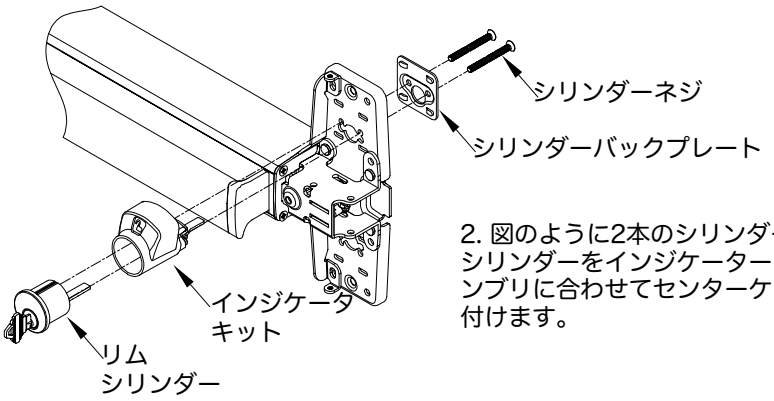




プッシュバーを押し込み、フラット又は六角レンチを回すか、又はキーを1回転回してドッグチェックをします。

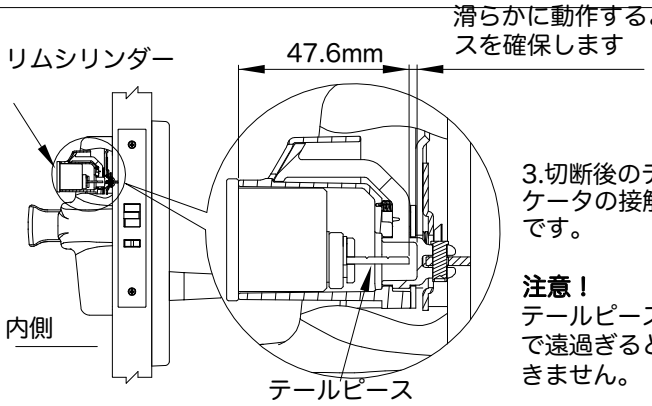
# セキュリティ　インジケータ　キットの取り付け




1. カバーを外します.



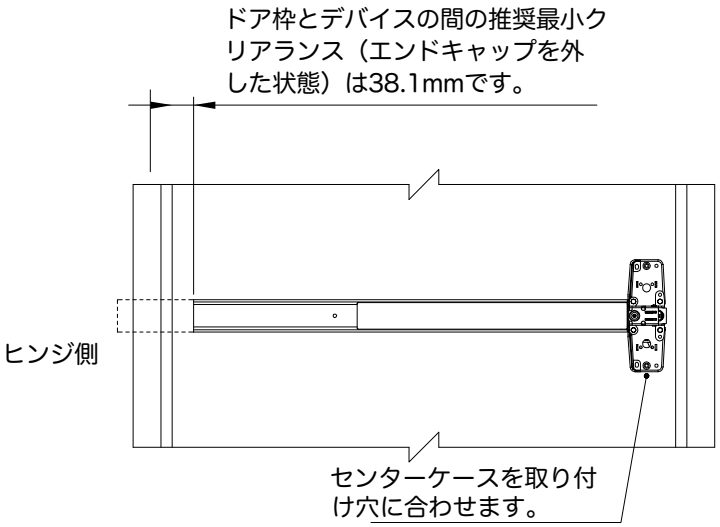

2. 図のように2本のシリンダーネジでリムシリンダーをインジケーターキットアセンブリに合わせてセンターケースに取り付けます。

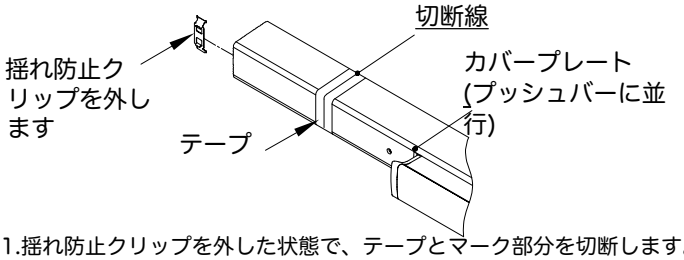



3.切断後のテールピーの先端部とインジケータの接触面との間の距離は47.6mmです。

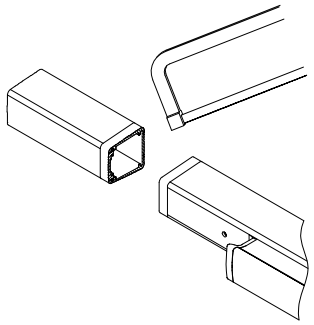
**注意！**
テールピースがインジケータ駆動穴の中で遠過ぎると、適切に操作することができません。

# デバイスの切断(必要に応じて)

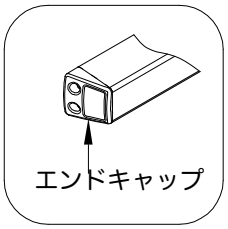



1.揺れ防止クリップを外した状態で、テープとマーク部分を切断します。



2.デバイスを切断しバリを取ります。
**注：エンドキャップがフィットするようにデバイスを直角に切断してください。**

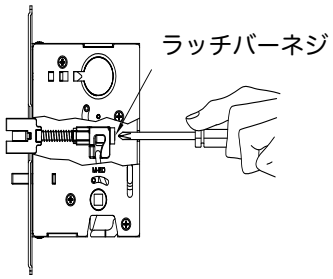


GOLDMAN INC.

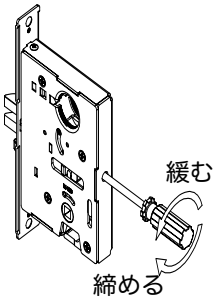
Klacci. life unlocked.

# 1400パニックバー 箱錠用
## 取付説明書

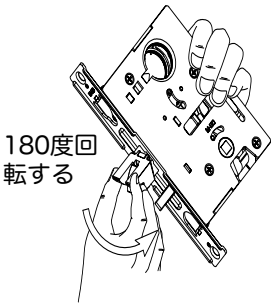
1.デバイスとトリムの取り付けの準備をします（その指示を参照）。
2.箱錠とシリンダー用のドアを準備します（次ページの準備を参照）。
3.必要に応じて箱錠の勝手を変更します。
(a)箱背後のラッチバーのネジを緩めて、ラッチボルトを錠本体から引き出します。
(b)ラッチボルトを完全に引き出した後、180度回転させ、平面側を非難方向に向け、箱の背後のラッチバーのネジを締めます。



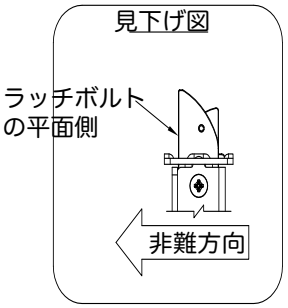

必要に応じてネジのセットの取り外しを行います。



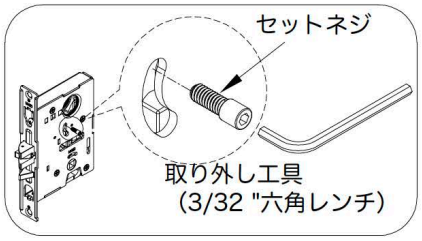

4A. セットネジは出荷時のままにしておきます。
セットネジはEO, DT, NLの場合、ロングスロット側で工場出荷時に設定されています。




セットネジを外し、TP、K、"ダブルシリンダー" の反対側の短いスロットにリセットし、外側のシリンダーで L型トリムを施錠または解錠します。

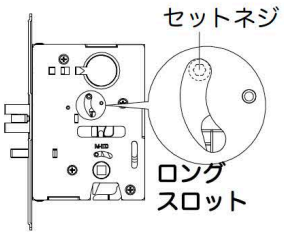


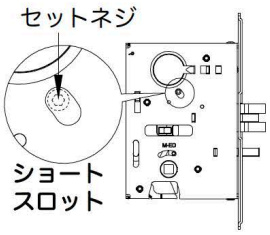

4B. ドアに箱錠をセットし、バックプレートのネジで固定します。



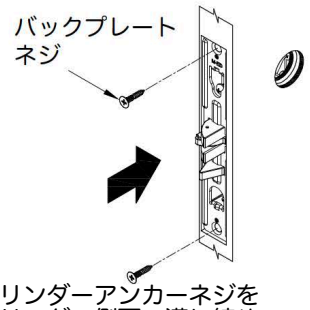

5. 必要に応じ、トリムを取り付けます（「トリム手順」を参照）

6. 外部シリンダーを使用する場合：
(a)アンカーねじを緩め、シリンダーが箱錠にセットできるようにします。



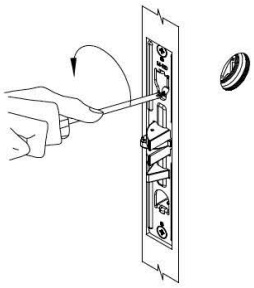



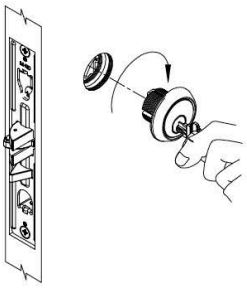

(b) シリンダーを箱錠ケースにねじ込みます。キーが垂直方向になる様シリンダーをセットする必要があります。

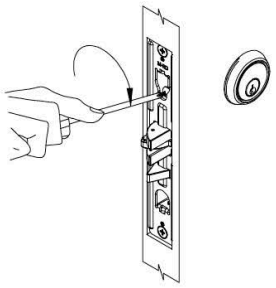



(c)シリンダーアンカーネジをシリンダー側面の溝に締め、シリンダーをセットします。

**注意：セキュリティインジケータは、特殊な盗難防止用の箱錠ケースを使用しており、工場出荷時には事前に設定され、変更の必要はありません。上記の手順は該当しません。**

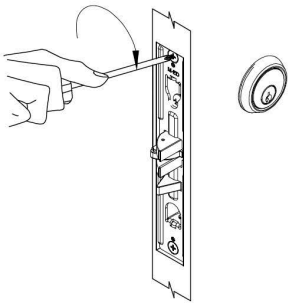


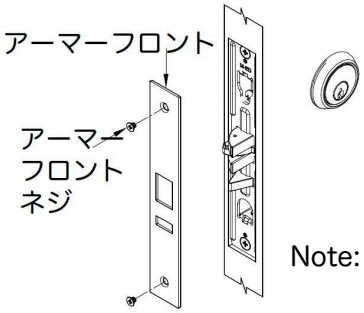




7.箱錠の取り付けを完了します。
（a）2本のバックプレートネジを締めます。

（b）アーマーフロントを箱錠の正面に、2つのネジで取り付けます。

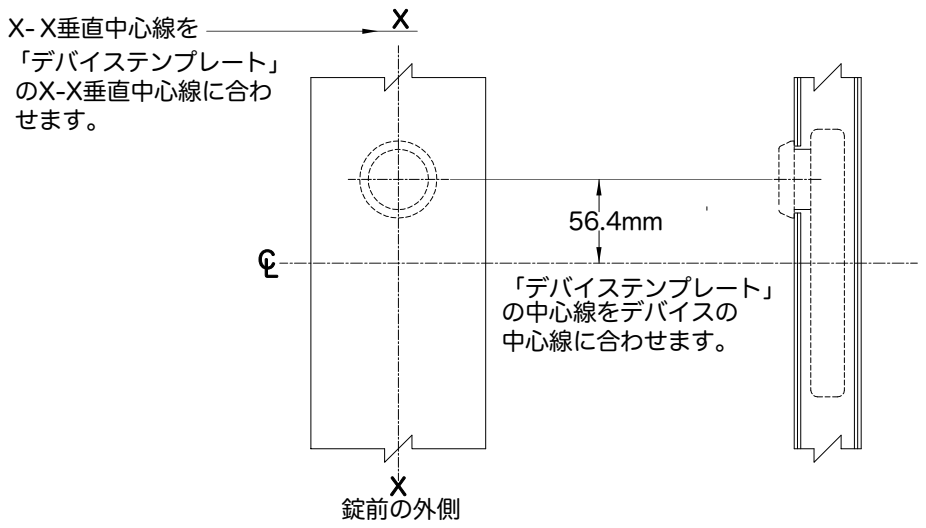




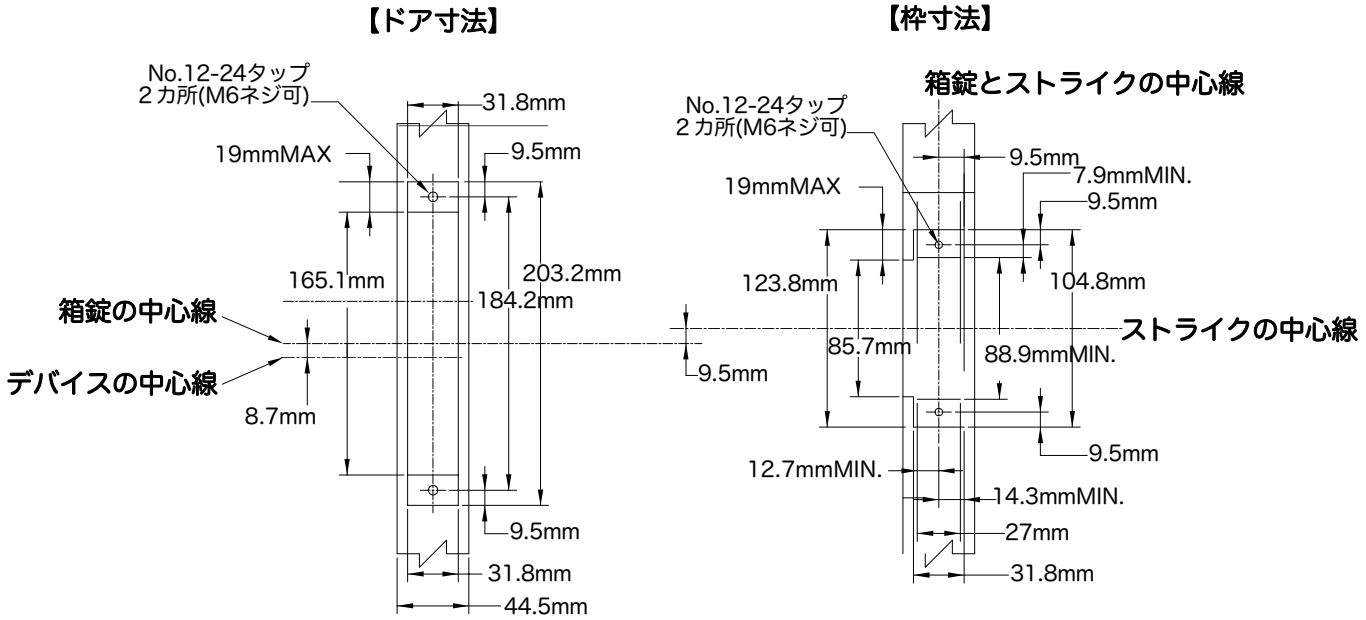



Note: 美和シリンダー：U9MOT.CY

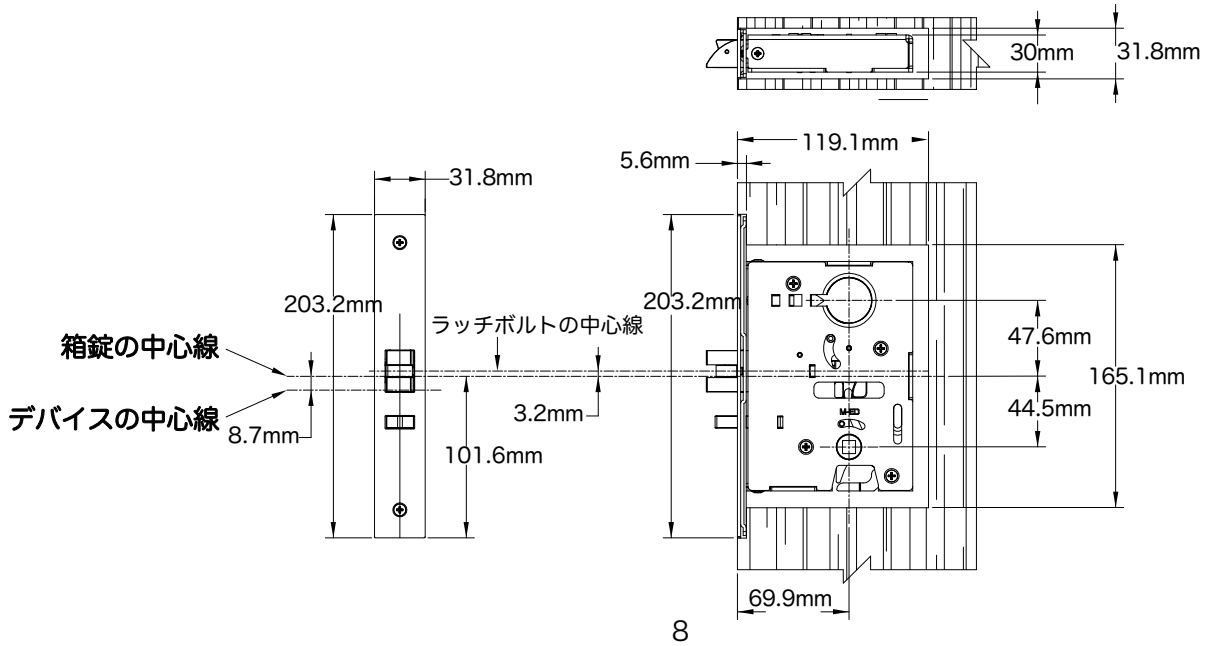
# 箱錠シリンダーのドアへの標準取付




# 箱錠の鋼製ドアへの取付準備




# 箱錠の木製ドアへの取付準備



GOLDMAN INC.

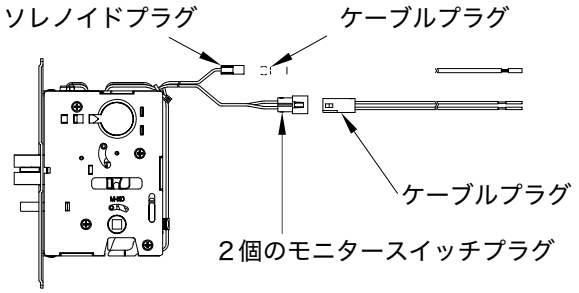
Klacci. life unlocked.

# 1400シリーズ用 電気箱錠
## 取付説明書

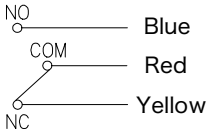
### E 電気箱錠の機能

1.仕様
ソレノイド電流：24VDC、
0.25Amp12VDC、0.50Amp
スイッチ定格　：24VDC、2Amp（SPDT）

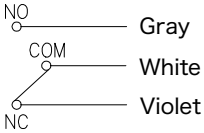
2.電気錠による施錠 / 解錠
非極性のソレノイド接続に24 / 12VDC電圧源を印加、トリムの施錠（停電時解錠）と解錠（停電時施錠）のどちらかが発生します。箱錠の機能変更については、このページの裏の説明を参照してください。



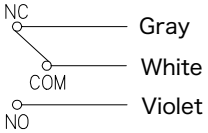

3. 補助ボルトの監視（ドアを閉めた状態）
補助ボルトのみが押されているとき、すなわちドアが閉じているとき、箱錠はCOM-NC（Red - Yellow）接続状態にあります。




4. トリムの監視
トリムが施錠状態または解錠状態にあるかを監視します。ソレノイドに印加されるとスイッチはその逆の位置に切り替わります。



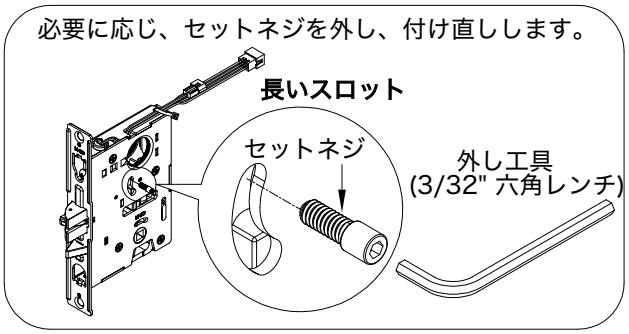

ソレノイドが OFF
(電源がOFF)




ソレノイドがON
(電源がON)

注意：示されている配線は、ドアが閉じている場合を表しています。

5. 必要に応じて箱状を準備します。

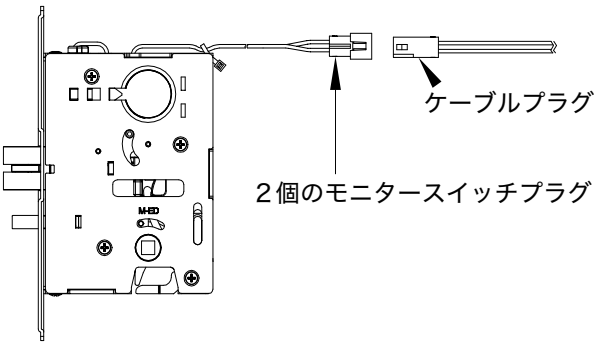



箱錠用のデバイスでは、NLネジは、NL操作用の箱錠の長いスロット側にセットします。

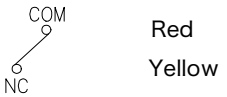
**注意**：セットネジは、TP、K、L および NL の各アプリケーションの場合、長いスロット側に工場出荷時に設定されています。

### SS 電気錠の機能

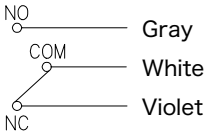
1. 仕様
スイッチ定格　：24VDC , 2Amp (SPDT)



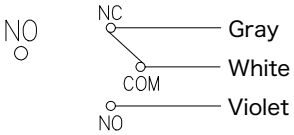

2. 補助ボルトの監視（ドアを閉めた状態）
補助ボルトのみが押されているとき、すなわちドアが閉じているとき、箱錠はCOM-NC（Red - Yellow）接続状態にあります。




3. トリムの監視
トリムが施錠状態または解錠状態にあるかを監視します。



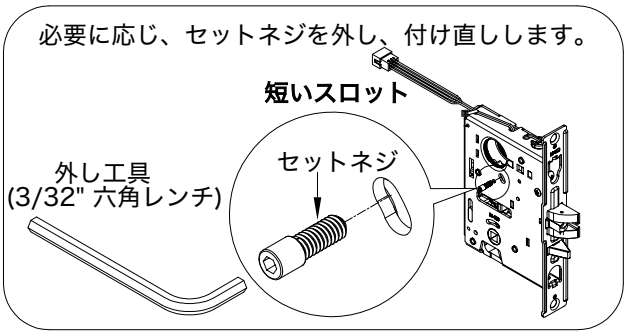

トリムは解錠




トリムは施錠

注意：示されている配線は、ドアが閉じている場合を表しています。

4. 必要に応じて箱状を準備します。

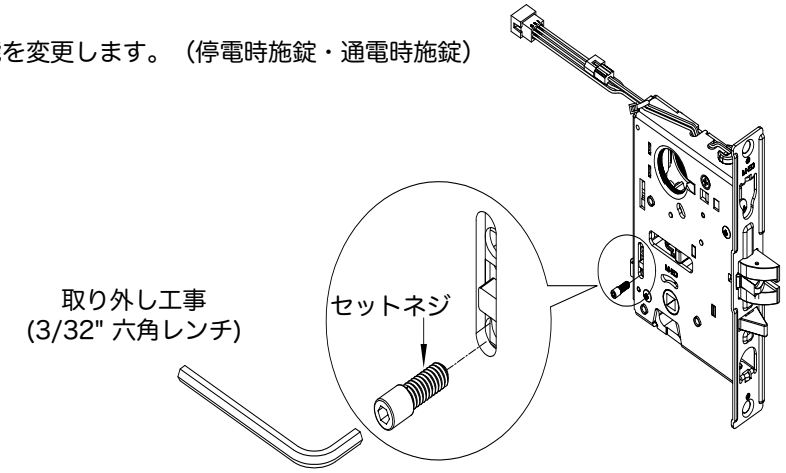



TP、K、 "ダブルシリンダー"、及び外側のシリンダー付きL型トリムの場合は、上記のようにセットネジを外し、短いスロットに入れ、トリムを施錠 / 解錠の機能にします。

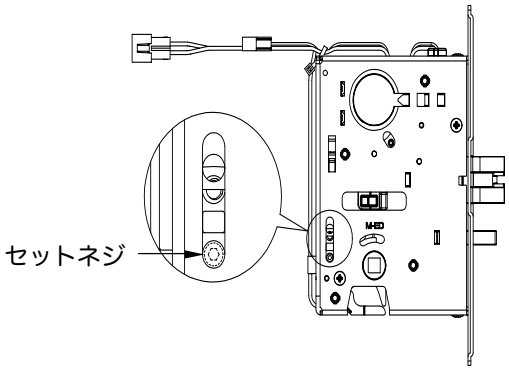
※各種アルファベットの詳細：
- EO = 退出機能のみ・外部トリムなし
- NL = ナイトラッチ（常時解錠）トリム固定
- DT = ダミートリム（機能なし固定トリム）
- TP = サムピース（親指でラッチ解錠）
- K　= ノブ
- L　= レバーハンドル

# 施錠機能の変更（停電時施錠・通電時施錠型）

1. 必要に応じて施錠機能を変更します。（停電時施錠・通電時施錠）

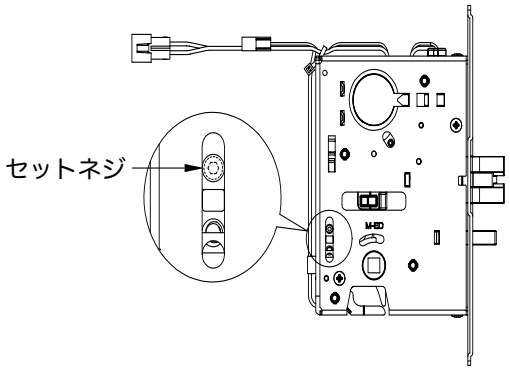



**2A. FSE(停電時施錠型) -**
工場出荷時のセットが工場出荷時のFSE (停電時施錠型)になっています。変更の必要はありません。




電気が通電された時に、本体は解錠状態になり、停電時は施錠になります。

**2B. FS(停電時解錠型) -**
FS(停電時解錠型)での取付時ではセットネジを外し、上部に移動させます。




電気が通電された時に、本体は施錠状態になり、停電時は解錠になります。

3. **箱錠機能のテスト**

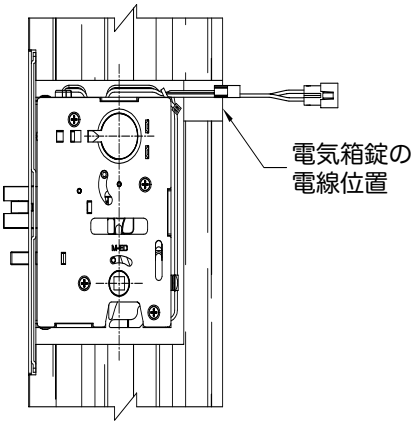
**FSE (停電時施錠型) 箱錠:**

A. 電気が印加されるとトリムは解錠状態になります。
B. 錠が上記機能の場合、または主電源かパワーサプライからの電源を喪失した際、トリムは施錠状態を保ちます。
C. トリムにシリンダーが装着された状態で主電源かパワーサプライからの電源を喪失した際、ナイトラッチ（常時施錠）機能になっていることを確認してください。（レバーハンドルは固定されます）トリムは固定になっていますが、一時的にキーで解錠ができます。キーを抜くと施錠状態に戻ります。

**FS (停電時解錠型) 箱錠:**

A. 電気が印加されるとトリムは施錠状態になります。
B. 錠が上記機能の場合、または主電源かパワーサプライからの電源を喪失した際、トリムは解錠状態を保ちます。
C. トリムにシリンダーが装着された状態で主電源かパワーサプライからの電源が印加されると、ナイトラッチ（常時施錠）機能になっていることを確認してください。（レバーハンドルは固定されます）トリムは固定になっていますが、一時的にキーで解錠ができます。キーを抜くと施錠状態に戻ります。
D. トリムに関する取付手順に関する詳細は "トリムの取付説明書"をご覧ください。

4. 箱錠とシリンダーの取付準備をします。
（前ページを参照してください。）




**注意**：付属の電線の長さは吊り元側で調整をしてください。錠前側でコネクターが通せるよう、十分なスペースを確保してください。
錠前をドアに取り付ける前に電線とコネクターの長さを十分に確保してください。